

大阪・関西万博共創チャレンジ企画

太陽光パネルの廃棄と再利用に関する討論会

2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラル(CN)を目指すことを宣言しました。これを実現するためには、火力発電から再生可能エネルギーへの転換が必要です。太陽光発電は、FIT制度をきっかけとして国内での利用が他の再生可能エネルギーより先んじて進んでおり、CN推進にあたり電源構成比でみて大きなウェイトを担う必要があります。

一方、耐用年数を過ぎ廃棄される太陽光パネルへの対応を考えずに、その導入が推進されたことから、廃棄される太陽光パネルの量は5年後から爆発的に増えることが予想されています。この問題の対処方法に関して、現段階で実効性の高いロードマップが策定されているのでしょうか？私たち一人ひとりが取り組むべき課題として認識する必要があります。

日本技術士会近畿本部2025大阪・関西万博参画実行委員会では、共創パートナー／チャレンジの活動の一環として2024年6月15日に「太陽光パネルのアップサイクル」に関する座談会をYouTubeで配信してから現在に至るまで、廃棄される太陽光パネルに対する対処方法について検討を行っております。本検討会では、太陽光パネルの利用推進と廃棄される太陽光パネルに関する課題を多面的な視点で明確にし、その対処方法を考えます。この討論会に、ぜひ多くの方にご参加いただきますよう、お願いいたします。

主催 | 公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 (2025大阪・関西万博参画実行委員会)

日時 | 2025年5月31日(土) 14:00~17:00

場所 | 大阪科学技術センター 605号室 / 大阪市西区靉本町1-8-4

オンライン併催 (オンライン参加は会員限定)

人数 | 会場 50名

オンライン 100名

CPD | 2.5時間

参加費 | 正会員・準会員・協賛団体 (1口1名) 1,000円

非会員 2,000円

申込 | 正会員・準会員 [技術士CPD行事申込新システム](#)

非会員・協賛団体 <https://forms.gle/5xpHVB9iSWvocPas5>

期限 | 2025年5月25日(日)

問合せ先 | 公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 事務局

06-6444-3722 / pe@ipej-knk.jp



正会員・準会員



非会員・協賛団体

プログラム（予定）

- 14:00 - 14:10 開会のあいさつ
2025 大阪・関西万博参画実行委員会 委員長 綾木光弘
- 14:10 - 14:30 「太陽光パネルの廃棄問題と廃棄されたパネルのアップサイクルへの
取組み」
昭和製線株式会社 代表取締役社長 廣瀬康輔 氏
- 14:30 - 14:50 「ハンダの劣化によるメガソーラーの故障に対する誘導加熱を利用した
非接触リペア技術」
立命館大学 理工学部 電気電子工学科 助教 河野悠 氏
- 14:50 - 15:10 「太陽光パネルの市場シェアの推移」
技術士（建設部門） 廣瀬剛
- 15:10 - 15:25 休憩
- 15:25 - 15:45 「農業分野における太陽光パネルの導入ポテンシャル」
技術士（農業/総合技術監理部門） 坂元通夫
- 15:45 - 16:05 「太陽光発電パネルシステム全体を資源や環境との関係から見る、
サーキュラーエコノミー(CE)構築の提起」
技術士（金属部門） 和田仁
技術士（経営工学部門） 穴山恭廣
- 16:05 - 16:25 「3R に関する現状と課題」
技術士（電気電子/応用理学部門） 田中宏
技術士（経営工学部門） 杉山典之
技術士（上下水道/総合技術監理部門） 森本達男
- 16:25 - 16:55 総合討論
- 16:55 - 17:00 閉会のあいさつ
日本技術士会 近畿本部 本部長 田岡直規